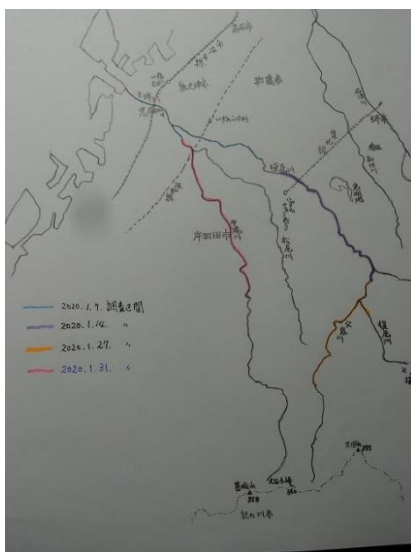


日本あちこち河川遡行記（第311回）

大阪 4-2. 牛滝川（その1） 令和2年1月31日（金）晴一時曇り

冬らしくない天候が終わり朝は寒く晴れ。大津川のもう一つの川「牛滝川」を目指しマスクとアルコール除菌おしぼりを用意してこだまに乗る。阪和線泉府中駅に前回と同じ時刻に着き駅前の自転車駐車場に向かう。今日も電動アシスト自転車の出番である。槇尾川と牛滝川の合流点近くに先ずは向かう。槇尾川遡行時についでに調べた2橋の次の3番目の橋（水管橋）から開始する。



01.今回調査区間位置図（ピンク線部）

牛滝川左岸側の土手道を北西に進み合流点から3番目の橋でUターンし上流に向かう。国道26号の橋の近傍の川の堤防はコンクリートで嚴重に防護されている。国道橋の桁下を潜る土手道の空間は1.5mしかなく、首を引っ込めて通過し桁を見て行く。

やがて左側に支流の「松尾川」が合流点する地点を通過する。府道227号の「多賀橋」は合流点の直ぐ上流側を2河川まとめて越えている。まるで「大川」から分かれてすぐの「堂島川」と「土佐堀川」をまとめて越える「天神橋」のように見える。

和泉市から新たな市「岸和田市」に入る。泉南の中心都市で大阪府では大阪市、堺市の次に市制を敷いた由緒正しき市である。早速マンホール蓋が現れる。岸和田城と市の木の楠木の葉のようだ。城が情けない姿をしているぞ。だんじりにしておけばよかったのに。



02. 嚴重に防護された川の姿



03. 合流点に架かる橋、天神橋とおんなじヤ



04. 岸和田市は城と市の木クスノキの葉

川に土手が無くなり川沿いの道も無くなる。川から付かず離れずの府道と市道をジグザグに進み橋を一つずつ見て行くので川の長さよりも長い距離を走り時間がかかる。巨大な溜池「久米田池」の近くを通過するが池の存在は分からない。泉州は瀬戸内海気候と台地地形が広がるため播磨地方と同じく溜池の多い地域である。「九頭神橋」と名乗る凄い名前前の橋が有る。九頭竜川を思い起す名前だ。



05. 九頭神橋とは凄い名前だ

地名や学校名に「山直」という字が出てくる。これを「やまだい」と読むよう
でかつての村名である。府道 223 号の「昭和橋」の袂に牛滝川の解説板が立っ
ている。支流が短く細長い流域であるのが良く分かる。

「念仏橋」は長径間のコンクリートラーメン橋で橋台と桁が一体になってい
る。念仏橋の次は「宮前橋」が現れる。仏の次は神様のお出ました。



06.牛滝川流域は細長ーい



07.長径間のコンクリートラーメン橋
だな

かつての街道の雰囲気が残る市道を南東に進むと岸和田名物の「だんじり」の
立派な保管小屋が建っている。「小倉 地車庫」とシャッターに書かれている。
だんじりは地車と書くんだな。だんじり祭りは市中心部で 9 月に行われるが郊
外では 10 月に開催される。高速で角を曲がるので毎年のように死傷者が出てい
るが止める気はさらさら無いようだ。



08.岸和田と言えばだんじり、車庫は立派

次の橋は対岸の工場に渡る私道橋で赤く大きく立入禁止と書かれている。



09.会社入り口の私道橋

川と台地との高低差が大きくなり登り降りの繰り返しとなる。電動アシスト仕様である。このタイプの川にはこのやり方がベストである。半田紡績工場の入り口にも立派な橋が架かっている。橋から上流側を見れば高い崖が両側に続き、コンクリートで覆われている。台地への急坂を上がり府道 230 号から先ほどの地点を見る。崖の上の住宅と谷底との環境の違いが際立つ。



10.コンクリートに覆われた崖が凄いな



11.合流点の上から谷間を見る

街道沿いに「積川神社」が現れる。「つがわ」と読む神社の本殿は国宝に指定されているのを帰宅してから知り立ち寄ればよかったのにと、後の祭りだ。



12. 「積川神社」の本殿は国宝とか

直ぐに今日の最終橋「積川大橋」に着く。国道 170 号（大阪外環状線）が谷間を渡る橋で大規模方杖付きラーメン橋だ。親柱に大阪には珍しい絵柄が入っている。白い 5 弁の花が鮮やかに咲いている。



13. 深い谷間にデカイ方杖ラーメン鋼橋



14. 国道 170 号の積川大橋の親柱には花が咲いている

和泉府中駅までは府道 40 号を一気に北に進む。線形の良い 4 車線の起伏の無い道をアシストを利かせて快調に飛ばす。

途中で水ナスの看板を見つけ途中停止する。水ナスなどの漬物を盛り込んだお茶漬け定食が売りの和食レストランである。すでにコンビニサンドを食べた後なのでパスして駅に向かう。北風も物としない電動アシストが頼もしい。



15.泉州と言えば水ナスだ

本日の輪行距離：22.8km。調査した橋の数：31。

総歩行距離：10,786.2km。総調査橋数：14,093。

使用した 1/25,000 地形図：「岸和田東部」（和歌山 10 号-1）